

○ 委員長報告

9月定例会本会議で報告された農林水産委員長報告は、以下のとおりです。

平成29年9月定例会

農林水産委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、ICT活用農業担い手支援技術開発事業についてであります。

このことについて一部の委員から、今回取り組む技術の実用化をどのように進めていくのか。

また、県内のJAでは、各支部ごとに剪定や摘果の講習会を実施しているが、この開発システムはどのように活用していくのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、既存のシステムを活用してデータ集積や試作に取り組むこととしており、地域で名人と呼ばれる熟練農家の協力を得ながら、3年間の期間中に、現場で活用できる一定レベルまで実用化を進めたいと考えている。

また、剪定や摘果等の際に、熟練農家は何をどう判断して作業しているのかを、視線カメラを用いて動画にし、マニュアル化したDVDを作成することとしており、剪定講習会等において視聴した後、現地での実習に活かすなど、教材としても活用したいと考えているとの答弁がありました。

第2点は、えひめ国体・えひめ大会における県産農林水産物のPRについてであります。

このことについて一部の委員から、1か月後に、えひめ国体・えひめ大会が開催されるが、お土産物など、本県の農林水産物のPRについてどのように取り組むのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、えひめ国体・えひめ大会には、県内外からの多くの来場者が見込まれており、本県農林水産物をPRする絶好の機会と捉え、県産柑橘を使ったお土産スイーツの商品化に取り組んでいる。

また、開閉会式で提供される国体式典弁当についても、県産ブランド産品をはじめとする多くの県産農林水産物が採用されたところである。

さらに、国体等の期間中、県総合運動公園に設置する「みきゃん広場」において、「えひめマルシェ」を開催するほか、市町の各会場でも、店舗展開を行

うこととしており、えひめ国体・えひめ大会を通じて、愛媛自慢の食材を全国の皆様に味わっていただき、知名度向上と販売拡大につながるよう取り組んでいきたい旨の答弁がありました。

第3点は、ベトナムへの木材輸出についてであります。

このことについて一部の委員から、先般、県産材の需要拡大に向け、ベトナムのドンナイ省で県産材展示・商談会が開催されたが、その状況はどうか。

また、今後どう取り組んでいくのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、県産材の更なる需要拡大策のひとつとして、海外市場への販路拡大は重要課題と認識しており、今年度は、木材輸入量が飛躍的に増加しているベトナムを新たなターゲット国に加え、木材輸出に取り組んでいる。

8月11日～12日には、本県の主な製材業者等で組織する愛媛県産材製品市場開拓協議会と連携し、ドンナイ省の大手製材・木材商社の協力を得て、県産材展示・商談会を開催したほか、本県副知事と同省書記長及び知事との意見交換を行い、今後の交流促進を話し合ったところである。

今回の取り組みにより、大手企業や行政との関係が深まったほか、展示ブースなど県産材のPR拠点もできたことから、今後とも、同協議会や関係機関と連携し、継続商談のフォローアップや更なる販路拡大に取り組んでいきたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・愛媛あかね和牛の販売戦略
- ・本年産の農作物の生育状況
- ・農地集積の目標及び状況
- ・CLTの普及に向けた取り組み
- ・豪雨災害に対応した森づくり

などについても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。